



学校だより

笑顔あふれる学校を目指して

ホームページ <http://www.koganei.ed.jp/~kogan1js/>

在校生号 令和5年3月24日

小金井市立小金井第一中学校

小金井市桜町2-3-15

TEL 042-383-1161

FAX 042-382-0401

卒業生から在校生に引き継ぐ

校長 山中 栄治



4月に1年生を迎えた入学式から1年が経ち、本日が修了式となりました。この1年間、生徒たちは様々な活動や体験を通して、一步一步着実に成長しました。そして、生徒たちの笑顔が見られ、気持ちのいい挨拶を聞き、元気をもらい、令和4年度が終わりを迎えます。3月17日(金)、第76回卒業式を行いました。3年生は、短期間の練習を行い、保護者、教職員、在校生代表の参加での卒業式でした。在校生は、3年生から学んだことや受けた恩を忘れることなく、一中の良き伝統を引き継ぎ、新入生が安心して生活できる雰囲気を感じることができるようにしてほしいと思います。2年生は、4月から3年生です。相談する先輩はもういません。今までの経験を活かして、一中を今まで以上に過ごしやすい学校にしていきましょう。そして、最高学年として、学校をリードしてください。1年生は、新入生を迎える学年として成長しました。この1年間は小学校と異なる学校生活や授業などに戸惑いもあり、とても大変だったと思います。4月になったら、1年生の経験を新入生に教えてあげてください。

保護者・地域の皆様には本校の教育活動に対しまして、ご理解とご支援をいただき有り難うございました。心から感謝いたします。

第76回 卒業式 門出の言葉



冬の寒さに耐えてきた校庭の桜の蕾が膨らみ始め、春らしさが感じられるようになりました。今日このよき日に、私たち172名は、小金井第一中学校を卒業します。3年前の1月から流行した新型コロナウイルス感染症、これまでの一度も耳にしたことがなかった緊急事態宣言。得体の知らないものに世界中が翻弄される日々、そんな先が見えない中、私たちは入学し、翌日からおよそ2ヶ月間、自粛という人と会わない生活を送りました。自粛期間が終わると、これまでの何倍も早く一日が終わるように感じられました。この3年間があっという間だったのは、充実した時間を、一中で過ごしていたからだと思います。そんな3年間の中でも特に心に残っているのは、学校に行けるようになってすぐに行われた学年集会で、斎藤先生が仰っていた言葉です。「今はあれができない、これができないとってしまう。しかし、ネガティブに考えるのではなく、ポジティブに考えることが大切。今だからあれができたこれができた。」当時の私はこの話を聞いて思いました。そんな綺麗な事だと。実際、その年の運動会もふじがね祭も開催されず、秋にやっとの思いで開催された校外学習も、行き先は小金井公園。また、友人とも距離をおくように言われていたので、学校は授業のためだけで行っていたように思われました。そんなパツとしない日々を送った中学校1年生の3月、冬のピークが過ぎたころ、球技大会が行われました。種目はドッジボール。それぞれ白熱した試合が繰り広げられました。運動が得意な人はもちろん、苦手な人も一体となって懸命に取り組み、楽しんでいました。今思えば、球技大会はその年唯一の勝ち負けがつく行事であり、コロナやマスクによって生まれてしまった心の距離を何十歩も近づけた行事となりました。集会の時の先生の言葉は、コロナとの付き合い方がやっとわかり始めた今、初めて実感できます。自分一人の努力だけでは敵わない敵と出会った時、前を向いて生きることは、苦しい状況に立ち向かえる唯一の方法なのだ。

コロナ禍の学校生活では実施が難しい行事が多く、悔しい思いをすることもありました。そのよ

うな中で重要視されたのは、ソーシャルディスタンスの確保。たとえ少人数であっても密接な集合が嫌われるコロナ禍においては、全校生徒が運動場や体育館に集まるような学校行事はできなくなりました。運動会やふじがね祭といった大規模なものにとどまらず、その影響は普段の学校生活にも及び、多くの行事が実施不可能になったのです。しかし私たちはそうした状況を「新たな生活スタイルを構成する好機」と捉え、新しく導入されたICT機器を使った学校生活を作ることに挑戦しました。例えば学校行事のオンライン開催。代表例として挙げられるのが「生徒総会」。小金井一中生徒会の在り方を協議する重要な場です。ここで世間で言うテレワークを応用することにしました。各教室をオンラインミーティングで接続して開催する方式をとり、大勢の接触を避けつつ円滑な学校づくりが今も行われています。他にも授業の中での調べ学習、スライドを使ったプレゼンテーションなど、様々な活動の中でICT機器を活用しました。徐々に活用できる場面が増え、多くの行事・企画が新たな形で復活し、わたしたちの学校生活に彩りが戻ってきたのです。また、生徒一人ひとりがICTを使うことが「当たり前」になることで、社会に飛び立つ上で必要な知識を養うことができたのは、この状況だからこそ得られた経験だと思います。コロナ禍、グローバル化、情報化の社会と共に過ごした3年間。私たちが歩んだ道はまさに「激動」と呼ぶに相応しいものでした。そんな学校生活の中で私たちが得た「制約がある中でも方法を模索し、実施にこぎ着ける」という意識は、窮地に陥る中でも必死に考え、行動したことによる「努力の結晶」です。そしてそれは決して色褪せることのない、私たちの創意工夫の全てでもあります。

2年生では、わたしたちは移動教室に行く予定でした。事前学習やガイダンスが行われ、今年こそは校外学習に行けるのではないかと、という期待が高まりました。しかし、感染状況はなかなか改善せず、移動教室は中止に。残念がる声も多くありました。その代わりとして、行われたのが、旅行計画。実際に旅行に行くことはできないけれど、計画だけでも立ててみよう、班で協力して計画を立て、発表を行いました。ここでも、ICT機器を活用して、情報を共有したり、発表のためのスライドも作ったりしました。どの班の計画も綿密に立てられており、その発表は、個性豊かなものでした。これは、移動教室には行けなかったものの、コロナだからこそ、できる経験だと前向きに捉え、一人ひとりが懸命に取り組んだことの表れです。これまで、日々の生活から行事まで、様々なことが制限されても、今できることを最大限楽しもう、そう私たちは、工夫し努力してきました。しかし、それでも私たちの心の奥底には、「なぜ私たちは我慢ばかりしなければならないのか」、「行事を普通に行いたい。」そんな気持ちがありました。そして3年生。運動会は無事実施され、修学旅行に向けて事前学習が着々と進んでいきます。今までの我慢や、やりきれない気持ちをぶつけ、思い切り楽しもう。そんな思いで当日までを過ごしました。計画は、2年生の時よりも丁寧に、抜かりなく、これまでの経験が活かされたのです。事前学習に真剣に取り組む様子には、旅行への、強い思いが現れていました。予定していたところを巡りきれないなど、アクシデントもありましたが、全員の協力のおかげで、旅行は無事に終わりました。一番の思い出は修学旅行。そう、多くの生徒が答える理由。それは、修学旅行が、班、クラス、学年が一つになって喜びを分かち合い、中学校3年間、仲間と築き上げたものの集大成だからです。

誰もが不安になる中で、毎日学校へ行きたいと思えたのは、いつも変わらず明るく迎えてくださった先生方、平穏な学校生活を支えてくださった用務や事務の方、栄養士の先生、調理員さんの存在があったからです。私たちは学校へ行くこと、学ぶことの楽しさを実感するようになりました。一中の二代行事は縮小や中止になり「どうせまたできないだろう」と諦めることに慣れ始めていた私たちに、先生方はアイデアと熱意溢れる授業、多くの楽しい企画を用意してくださいました。諦めず、安全に行事が実施できるように万全の対策を講じ、ご尽力くださったおかげで今年の運動会は保護者公開で、ふじがね祭はRISURUホールでの開催が実現しました。大むかでの土埃や掛け声、広いホールに響き渡った歌声、あの時の感動は私たちの胸の中に一生の思い出として刻まれたでしょう。私たちは与えられたチャンスを全力で取り組みました。一中生として当たり前のことを当たり前に行うことがどれだけ重要で大変なのか、そして有難いことなのかを学びました。この3年間を共に過ごしたかけがえのない仲間たち。楽しい時は一緒に笑い合い、困った時は励まし合い、マスクを外せなくてもその分、心豊かに想いを共有することができました。共に支え合い、向上し、まさに切磋琢磨。受験期も一丸となって乗り越えることができました。この仲間の存在があったから

こそ私たちは実り多い3年間を過ごすことができました。そして、愛情深く支えてくれた家族。いつも前向きな言葉と笑顔で私たちの背中を押してくれました。明日から、私たちはそれぞれ新しい道を歩みます。誰も経験したことのない困難に立ち向かった私たちは、新たな方法や手段を考え出す力を身につけました。不安なことがあったとしてもその逆境をバネにし、大きく飛躍できるはずです。そんな私たちをこれからも温かく見守っててください。小金井第一中学校の卒業生として誇りを持ち、しっかりと前に進みます。

令和5年3月17日 卒業生代表

進級おめでとう



あっという間の1年間でした。

クラスが1つになった運動会。学校行事として初めて学校の外へ出た校外学習。素晴らしい合唱を創りあげたふじがね祭。その他にも、特別支援学校との交流、学年レク、そして何より日常の授業。どの場面を切り取っても、「ファーストペンギン」となった生徒が中心となり、クラス、学年で共に学び合ってきました。皆さんは、仲間の個性を認め、互いを高め合える素敵な集団です。進級おめでとう。2年生になってからの皆さんの更なる成長が楽しみです。

保護者におかれましては、お子様の中学校入学で環境が変わるなか、教育活動への御理解、御協力ありがとうございました。2年生でも引き続きよろしく願いいたします。

第一学年 学年主任 天本 晋平

今年度も制約が多い中ではありましたが、様々な行事を通常と近い形で行うことができました。移動教室ではクラスメイトとの絆がより深まったと思います。ふじがね祭は、大ホールでの合唱は緊張したことと思います。職場体験では、働くことの大変さを知ったり、達成感を味わったりすることが出来ました。

中学2年生、全員が確実に成長しています。自信をもってください。しかし一方で、今まで出来ていたことが疎かになっていることもあります。時間はしっかり守れていますか。提出物は余裕をもって管理できていますか。家庭学習は習慣になっていますか。

もう一度気持ちを新たに、中学3年生としてこれまでの集大成を見せてほしいと思います。

1年間ありがとうございました。保護者の皆様、あと1年間、よろしく願いいたします。

第二学年 学年主任 塩出 孝弘

宿泊行事をはじめとして、運動会やふじがね祭、職場体験などの行事に、制約はありながらも取り組むことのできた1年間でした。昨年度までのことを考えれば、あたりまえだと思っていたことのありがたさを感じることもできたと思います。そういった行事で交流や、日常の1組での生活を通し、それぞれが自分のペースで成長してきました。2年生はよいよ最上級生として学級をリードする準備を始めています。1年生も、4月になるとわからないことばかりの新入生を迎え、先輩として行動していくこととなります。今まで背中を見てきた先輩たちの姿を思い出しながら、皆で考え協力して、安心して過ごしやすい学級づくりをしていきましょう。皆さんのさらなる成長がとても楽しみです。

保護者の皆様、本年度も1年間御協力ありがとうございました。今後もよろしく願いいたします。

1組担任 濱浦 愛

制限はまだまだ続く年ではありましたが、行事などできることが増えてきました。少しずつ本来のG組に戻っていくのと同時に、行事が多く忙しいと感じたことでしょう。それでも行事ごとにみんなが力をつけていくのを見て、本当に嬉しく思いました。そんなみんなの一步一步の成長が、我々の力になっています。

3年生が卒業すると今度は自分たちが中心となり学級を、学校を代表していくこととなります。今まで積み重ねてきたことを自信にして、また新たな挑戦を続けていってください。みなさんの更なる活躍を期待しています。

進級おめでとございます。

G組担任 山下 周一

I組3学期校外学習

3月10日金曜日、I組3学期の校外学習を行いました。場所は横浜です。前日の天気予報では雨の心配もありましたが、当日は春の温かさが感じられるような晴天でした。3学期の校外学習では、班別行動がメインとなっています。今回は午前中に中華街を、午後にみなとみらい周辺を3班に分かれて散策しました。事前学習では、「3年生に楽しんでもらう」ことを目標に、2年生が中心となって1・2年生で計画を立てました。「班を引っ張っていけるのか」と不安な生徒も多かったようですが、当日は、事前学習で作成したオリジナルの地図を頼りに、的確に状況判断し、すばらしい活躍をしてくれました。3年生にとってはI組最後の校外学習となりましたが、楽しい一日にできたと思います。



活躍する一中生!



卓球部

関東選抜大会出場
予選リーグ1勝

テニス部

第8・10ブロック 冬季テニス大会
女子団体 優勝

男子バレーボール部

1年生研修大会
7校中4位

ソフトテニス部

令和4年度第10ブロック
春季ソフトテニス1年生研修大会
・ペア ベスト5



サッカー部

3年生市内大会ファイナルマッチ
対 緑中 ○ 2-1
対 電大中 ● 0-2

4月の予定 今後の状況によっては予定が変わることがあります。

4月6日(木) 始業式	19日(水) 内科検診(2・3年)
7日(金) 入学式	20日(木) 内科検診(1年、I・G組)
11日(火) 給食始 新入生オリエンテーション	21日(金) I組校外学習
12日(水) 身体測定	27日(木) 歯科検診
13日(木) 尿検査	28日(金) PTA総会、部活動保護者会
14日(金) 保護者会	

一中・連絡メール登録のお知らせ

今年度、本システムの運用に御協力いただき、誠にありがとうございました。現1年生、現2年生については次年度にデータがそのまま持ち上がりますので、4月に再登録の必要はありません。不明な点がございましたら、PTA役員まで御連絡ください。